

実用新案・意匠登録済

ノーブルシリーズ

ノーブル600

材質	長さ	幅	高さ	重さ
コンクリート	600mm	260mm	145mm	24kg



ノーブルシリーズの車止めは、車の衝撃力を、ブロックの曲面でタイヤを包むように受けとめる高機能ブロックです。曲線でデザインされた優美な形状は、景観を重視した建築物とマッチングしやすく、高級感をかもし出すブロックです。また、末広がり形状は、安定感、安心感を与えてくれますので、駐車場が安らぎの空間に変わります。

使用感向上

車の動きに応じて、ブロックの下段→上段→凹部と各箇所までタイヤの当たる力を包むように受け止めますので、他の車止めに比べ緩く車を止めることができます。

不倒構造

ブロックの裾が広く、タイヤが乗り上げて抑え込みますので、倒れません。

工事がラク

ブロックに手掛りを大きく取っていますので、運搬・据付などの作業が大変楽になりました。丁寧な工事が効率的にできます。

丸型で安全

ブロックの形は、タイヤを傷つけないばかりではなく、人がつまづくことにも配慮し、角をなくしました。

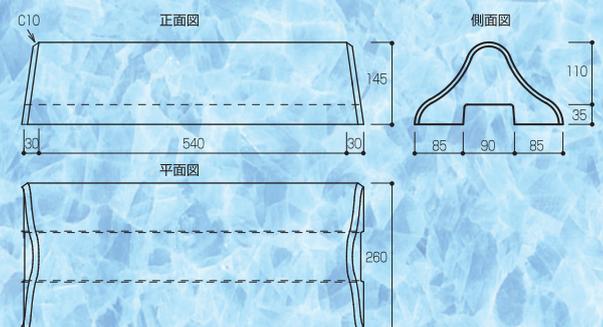
デザイン

ブロックの断面は、バランスをとった裾の広い山型の対称曲線でデザインされていますので、美観と安定感、安心感を生み出します。また、素材にコンクリートを使用していますので、他の素材のようにもろく壊れることがありません。



施工例

ノーブル600商品図



■用途 普通車、軽自動車車止め

(大型車の車止めとしてはご使用になれません)

※掲載商品の外装、仕様等がお客様に予告なく変更する場合があります。
※カタログの写真と実物では若干色が異なります。

ノーブル600据付方法

実用新案・意匠登録済

ボンド接着法

寸法板の作成

現場の区割幅を確認して下図の寸法板を作成しておきます。(下図は参考)



ライン引き

ブロックの前後方向の位置決めをする前面ラインを各区割に引きます。

(参考) 壁、フェンス等の障害物からの距離 mm

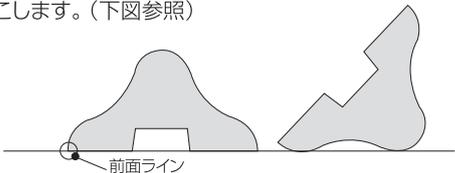
	軽自動車	一般車
前面ライン	650	1,250

マーク

準備した寸法板をラインに沿わせ、車幅方向で各区割の中央になるようにセットします。各ブロックの左右の位置をそれぞれマークします。

仮設置

ブロックを仮設置し、据付位置を最終確認します。そしてブロックと床のがたつきの有無を確認します。その後、ブロックは、ラインの無い側に回転させて起こします。(下図参照)



掃除

ブロック接合面のカスをワイヤーブラシ等で取り除き床のほこりもはらっておきます。接合面が濡れて入る場合は、乾燥するのを待って工事を行ってください。

接着剤

ヘラでブロック裏面に盛るようにして接着剤を塗ります。

据付け

ブロックを回転させ据付けます。ブロックを踏みつけて接着剤がなじむようにし、はみ出した場合は、とっておきます。約1日で完全接着します。

L金具併用法

寸法板の作成

現場の区割幅を確認して下図の寸法板を作成しておきます。(下図は参考)



ライン引き

ブロックの前後方向の位置決めをする、前面ラインを各区割に引きます。寸法板を作成していない場合は、金具ラインも引きます。

(参考) 壁、フェンス等の障害物からの距離 mm

	軽自動車	一般車
金具ライン	535	1,135
前面ライン	650	1,250

マーク

準備した寸法板をラインに沿わせ、車幅方向で各区割の中央になるようにセットします。各ブロックの左右の位置、金具用下穴位置をそれぞれマークします。

仮設置

ブロックを仮設置し、据付位置を最終確認します。そしてブロックと床のがたつきの有無を確認します。その後、ブロックは、ラインの無い側に回転させて起こします。(右図参照)



下穴を空ける

金具固定の下穴をあけます。	mm	
	下地	径 深
コンクリート	6.4	40
インターロッキング	4.0	130
アスファルト	4.0	50~60

掃除

ブロック接合面のカスをワイヤーブラシ等で取り除き床のほこりもはらっておきます。接合面が濡れて入る場合は、乾燥するのを待って工事を行ってください。

金具固定

L型金具に釘もしくはアンカーを打ち込み固定します。

接着剤

ヘラでブロック裏面に盛るようにして接着剤を塗ります。

据付け

ブロックを回転させ据付けます。ブロックを踏みつけて接着剤がなじむようにし、はみ出した場合は、とっておきます。約1日で完全接着します。

ピン併用法

※下地がアスファルトに限ります。

寸法板の作成

現場の区割幅を確認して下図の寸法板を作成しておきます。



ライン引き

ブロックの前後方向の位置決めをする、前面ラインを各区割に引きます。寸法板を作成していない場合は、ピンラインも引きます。

(参考) 壁、フェンス等の障害物からの距離 mm

	軽自動車	一般車
ピンライン	559	1,159
前面ライン	650	1,250

マーク

準備した寸法板をラインに沿わせ、車幅方向で各区割の中央になるようにセットします。各ブロックの左右の位置、金具用下穴位置をそれぞれマークします。

仮設置

ブロックを仮設置し、据付位置を最終確認します。そしてブロックと床のがたつきの有無を確認します。その後、ブロックは、ラインの無い側に回転させて起こします。(右図参照)



下穴を空ける

下地	mm	
	径	深
アスファルト	12.0	60

掃除

ブロック接合面のカスをワイヤーブラシ等で取り除き床のほこりもはらっておきます。接合面が濡れて入る場合は、乾燥するのを待って工事を行ってください。

ピンを打ち込む

ピンを穴に入れ、ハンマーで地上から20mm程頭部を残すよう打ち込みます。

接着剤

ヘラでブロック裏面に盛るようにして接着剤を塗ります。

据付け

ブロックを回転させ据付けます。ブロックを踏みつけて接着剤がなじむようにし、はみ出した場合は、とっておきます。約1日で完全接着します。

据付法概要

据付法としては、以下に示す3つがあります。

- ボンド接着法(ボンド(別売))
- L金具併用法(ボンド、L型金具(別売))
- ピン併用法(ボンド、アスファルトピン(別売))

※下地がアスファルトに限ります。

商品名	ボンド接着法	L金具併用法	Kシリーズ据付法	後アンカー据付法	ピン併用法
カーSTOPパー ノーブル500	○	○			○
カーSTOPパー ノーブル600A	○	○			○
カーSTOPパー ノーブル600	○	○			○
カーSTOPパー ノーブル600K			○		
カーSTOPパー ノーブルBI				○	
カーSTOPパー ノーブルBII				○	
カーSTOPパー ノーブルBIII				○	
STOPピー	○			○	
STOPピー-R	○			○	

OTEX オーテックス株式会社

■ 本社 〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町3-133 TEL 0742-45-8220 FAX 0742-48-8792
 ■ 東京営業所 〒114-0001 東京都北区東十条3-16-4 TEL 03-3919-8290 FAX 03-3919-8297